

2014年度

事業報告

地域別事業報告

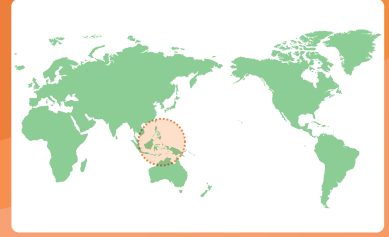
テーマ別事業報告

その他の活動報告



地域別
事業報告

① アセアン地域



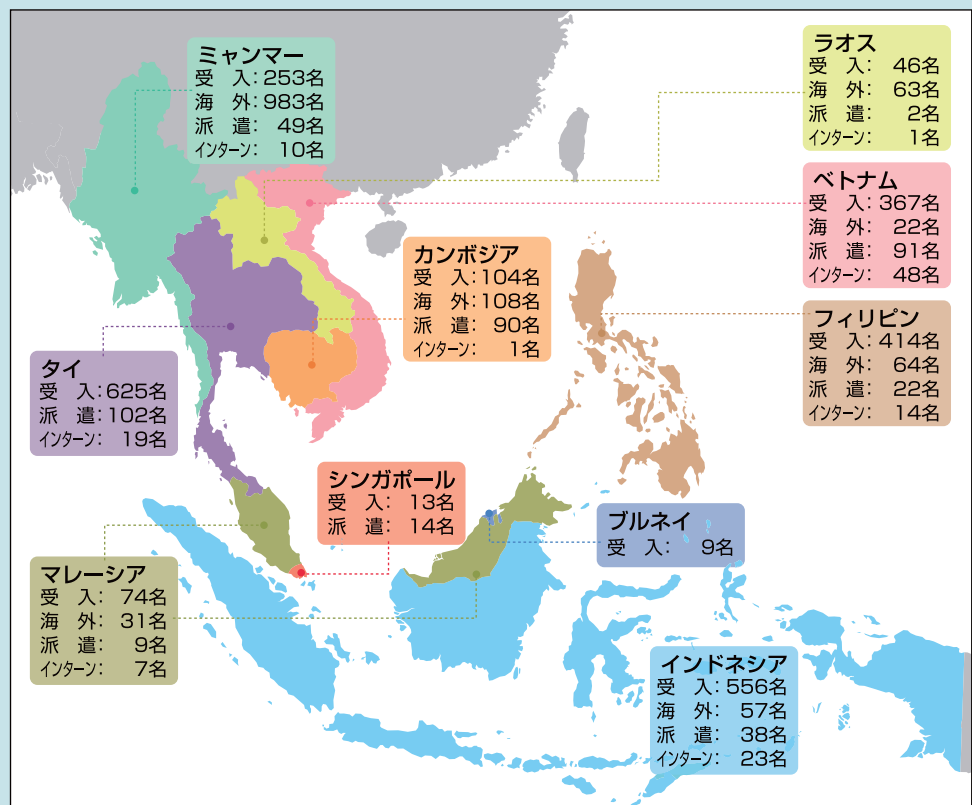
ASEAN region

アセアン地域は、世界経済のひとつの牽引役として著しい成長を続けています。2015年末の「ASEAN経済共同体」の実現に向けて、経済面、社会面、安全保障面等さまざまな分野の統合を計画しており、新たな成長ステージに向けて地域一体となって歩みを進めている状況です。日本企業による海外進出が加速する中、これまでの中国一辺倒の進出からチャイナリスクを回避しようという動きが顕在化しており、チャイナプラスワンとしてアセアン地域は更なる注目を浴びています。域内製造業の中心となっているタイ、経済発展が著しいインドネシアやベトナム、劇的な政策転換を遂げ民主化改革を進めているミャンマー、新たな生産拠点として着目されつつあるカンボジアやラオスといった域内の各国と日本の経済関係は今まで以上に緊密かつ重要なものになっています。海外へ進出する中小企業にとっても、タイ、ベトナム、インドネシアは最も関心ある進出先になっています。アセアン地域は人口6億を有する巨大市場であり、近年の経済成長をうけ消費者の購買力が上がってきたことで、生産拠点のみならず、市場開拓のための開発設計業務のアセアン移管の動きも始まり、それにとめない人材育成のニーズも多様化してきています。

HIDAでは近年の日本企業の海外展開に沿う形で、アセアン地域に対して最も多くの事業を行っています。2014年度は自動車及び同部品、電子部品、IT、化学、産業機械を中心に、幅広い分野の技術移転を図り、現地の日系企業はもとより取引先である地元企業を含めた地場産業全体の生産性や技術力の向上に貢献しました。また、同地域の産業基盤や社会基盤のインフラ整備需要が大きくなっていることを踏まえ、日本のインフラ・システムのパッケージ型輸出を人材育成の観点から支援するとともに、現地の貿易投資環境を整備し、円滑な貿易投資を推進するための技術協力事業を展開しました。

アセアン地域における国別実績(2014年度)

受入研修生数	2,461名
海外研修生数	1,328名
派遣専門家数	417名
派遣インターン数	123名



FOCUS タイ

Thailand

2014年度HIDAでは、さまざまな事業を通じてタイの人材育成を支援しました。当年度に日本に受入れた研修生は625名、現地に派遣した専門家は102名と、ともに国別では最も多くの実績をあげました。日本に來日し研修を受けた人材のうち162名は、主として現地日系企業に勤務する産業技術者で、HIDAの研修を通じて、自動車、金型、産業機械、通信機器等、自身の専門分野における固有技術を習得するとともに、帰国後に学んだ技術を伝え活かす能力を向上させました。また、2014年度から始まった低炭素化技術の移転を目的とする技術研修には103名が参加し、自動車、半導体、化学等の分野からの参加者が研修を受けました。タイ・プラスワン時代も始まりつつあり、タイ拠点の位置づけは企業により異なり、事業に対する期待も多様になってきています。労働集約的な工場を周辺国にシフトしつつある企業もあり、研修内容も製造技術だけでなく開発・設計等も増えてきています。

専門家派遣についても、経済産業省の委託事業である貿易投資等の制度や環境整備を図る事業でタイに対して最も多くの派遣が行われ、同国の持続的発展に貢献するとともに、日本企業の進出をさらに加速するための産業インフラ・基盤整備に対する支援を行いました。

FOCUS インドネシア

Indonesia

2014年度、日本に受入れた研修生は556名とタイに次ぎ多く、うち174名が主として現地日系企業に勤務する産業技術者で自身の専門分野の固有技術、低炭素化技術を習得する技術研修に参加しました。同国で急成長を遂げている自動車・二輪車産業では、生産性の向上、自動化、省力化が課題であり、進出日系企業におけるエンジニア需要も拡大しており、自動車、自動車部品、自動車エンジン製造分野における技術研修が最も多いのが特徴です。専門家派遣では、経済産業省の委託事業として防災鉄鋼技術の導入や内視鏡手技の普及等、新たな分野への派遣を行いました。

また、日本とインドネシアとの二国間経済連携協定に基づき、日本の国家資格を取得し、看護師・介護福祉士として就労するために來日した看護師候補者・介護福祉士候補者に対する6カ月間の受入研修は、HIDAでは6回目の実施となり、2014年度は41名の看護師候補者、146名の介護福祉士候補者に対して病院、介護施設での就労前の導入研修として、日本語や日本の社会・文化に関する研修を実施し、候補者たちの円滑な就労に向けた支援を行いました。

FOCUS ミャンマー

Myanmar

民主化後の工業化や急激な日系企業の進出に伴い、産業界が求める管理者、技術者、熟練工等の現地人材が圧倒的に不足している中、HIDAは2012年にミャンマー商工会議所連盟(UMFCCI)と締結した産業人材育成についての協力体制を継続し、2014年度もさまざまな事業において支援を

施しました。8つの事業を通して、253名が日本で研修を受け、海外研修では、主に、経済産業省の委託事業において、現在の、また、将来的に日本企業のパートナーになり得る企業や人材の育成を目的に908名に対し研修を実施しました。更に、HIDA/UMFCCIミャンマー産業人材育成セミナーを開催し、ミャンマーの産業人材育成に関する現状、課題等への理解を深めるとともに、UMFCCIによる人材育成構想に対するHIDAの協力可能性を提案しました。

FOCUS ベトナム

Vietnam

HIDAではベトナムに対しても積極的な人材育成支援を展開しました。2014年度は、タイ、インドネシア、フィリピンに次ぐ367名を日本に受入れ、専門家派遣ではタイに次ぐ91名の派遣実績をあげました。技術研修の分野は、タイ、インドネシアと異なり自動車分野ではなく、IT、金属、建設分野等を専門とする研修生が多いという特徴がありました。専門家派遣のうち約半数は中小サービス業を対象とした支援で、外食、美容、情報サービス等の分野で現地の問題・課題を解決するためのOJTによる指導を行いました。また、経済産業省から委託を受けて実施した日本人の海外インターンシップ派遣事業では、派遣先国としては最多となる48名の若手社会人・学生を派遣し、インターンシップを通じた現地における人脈の構築とグローバルに活躍できる若手人材の育成に貢献しました。

FOCUS フィリピン

Philippines

日本での研修に参加した414名のうち、106名が現地日系企業に勤務する産業技術者で、主にIT、金属、建設等の専門分野における固有技術、低炭素化技術の習得のため研修に参加しました。また、日本とフィリピンとの二国間経済連携協定に基づき來日した看護師候補者・介護福祉士候補者に対する6カ月間の受入研修を2009年度以降実施しています。2014年度についても、36名の看護師候補者、147名の介護福祉士候補者に対して、就労前の導入研修として、日本語や日本の社会・文化に関する研修を実施し、候補者たちの円滑な就労に向けた支援を行いました。

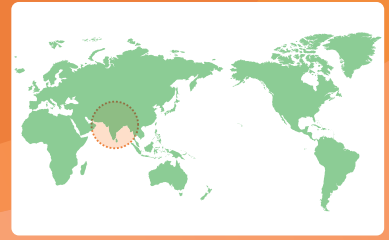
FOCUS カンボジア

Cambodia

2014年度カンボジアからは受入研修に104名が参加し、現地に90名の専門家を派遣しました。サービス業における日本企業の現地進出の動きに呼応し、同分野における人材育成ニーズ、特に専門家派遣による現地での指導に対するニーズが増加しています。サービス業を対象とした事業では20名が日本での研修に参加し、現地には87名の専門家を派遣しました。また、現地でセミナーも開催し、主に美容や外食等の分野の人材に対し「おもてなしの精神」等の日本的サービスマインドを持った現地人材の育成を行いました。

地域別
事業報告

2 南アジア地域

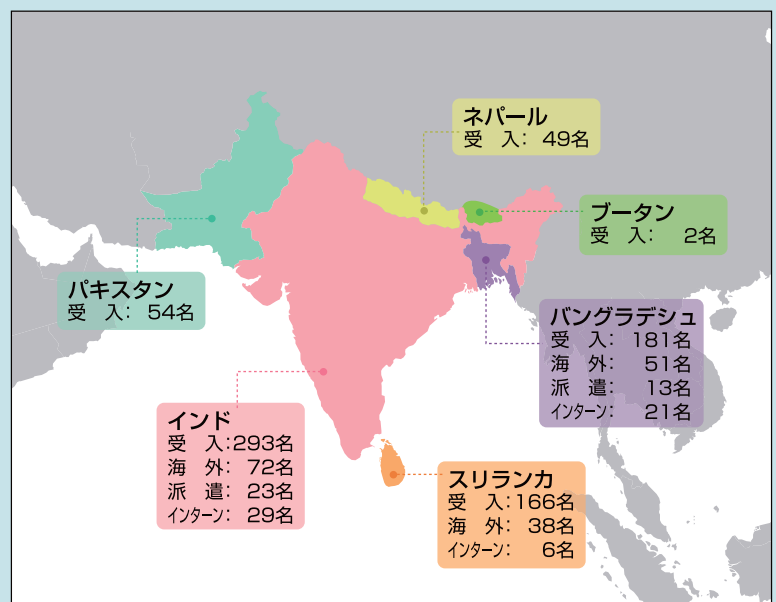


South Asia region

インドを中心とする南アジア地域の経済は高成長を維持しており、中間層の拡大による都市化、消費の拡大、世界人口の4分の1を有する豊富な人的資源に世界が注目しています。インドにおける日系企業の進出も増加しており、今後も日本からの投資や貿易の拡大が期待される中、現地の人材育成ニーズはますます高まることが予想されます。

南アジア地域における国別実績(2014年度)

受入研修生数	745名
海外研修生数	161名
派遣専門家数	36名
派遣インターン数	56名



FOCUS インド India

急速な経済成長を遂げているインドに対してHIDAでは現地日系企業に勤務する産業技術者の人材育成をはじめ積極的な支援を行っています。また、インドでは、製造業を振興する「Make in India(インドでつくろう)」を推進しており、HIDAにおいても「インドものづくり研修」を実施するなど支援に力を入れています。2014年度、インドからは293人が日本での研修に参加しました。そのうち93名が日本の企業において製造技術、低炭素化技術、サービス分野の研修を受け82名は品質管理や経営等の管理研修に参加しました。

インドには各地に9つのHIDA/AOTS同窓会が存在し活発に活動をしています。インターン生の受入機関開拓にも積極的で2014年度は29名のインターン生がインド



公開シンポジウムパネリストと研修参加者

に派遣されました。

2014年度の特徴的な取組みとしては、インド女性ビジネスリーダーを対象にした研修を実施し、女性の社会進出・人材活用という課題解決に向け、日本の最新事例を紹介しました。また、コースの一環として「女性がより輝く社会づくり」をテーマに公開シンポジウムを開催しました。

FOCUS バングラデシュ Bangladesh

バングラデシュはHIDA/AOTS同窓会の活動が活発であり、同窓会と連携を図りながら、181名の産業人材等を日本に受入れ、企業経営やリーダーシップ等に関する知識習得を目的とした研修を実施しました。同国の経営管理者を対象とした「日本産業・文化再発見プログラム」は、ダッカの同窓会により発案され、日本的マネジメントや日本企業の優秀事例を学ぶとともに、日本の文化や自然の美しさに触れ、肌で感じることで、日本の産業、文化に対する視野を広げることが目的に実施しました。

3 東・中央アジア 地域



East and Central Asia region

日本と地理的に近く、経済的に密接な関係にある東アジア地域の持続的な発展は、日本経済の成長にとって必要不可欠です。特に、中国と日本との経済関係は緊密かつ相互依存적であり、両国の良好な経済関係を維持することは重要な課題となっています。

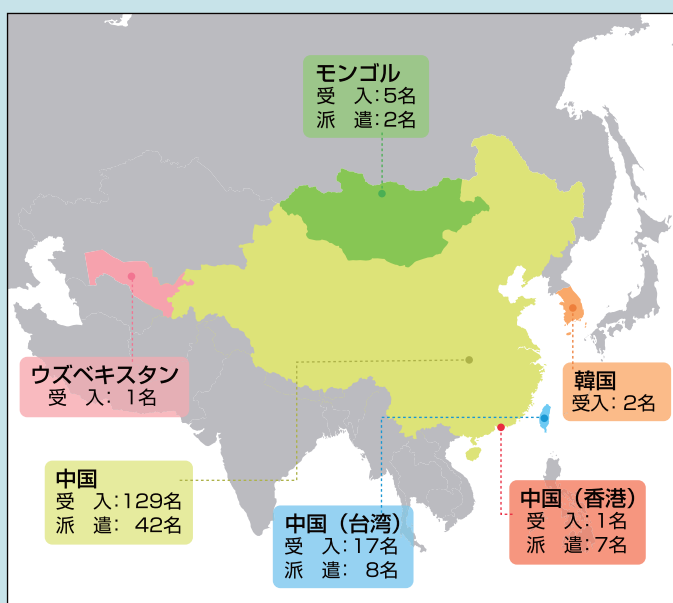
東・中央アジア地域における国別実績(2014年度)

受入研修生数

155名

派遣専門家数

59名



FOCUS 中国

China

2014年度に低炭素化技術移転の事業が開始され、53名が来日し当事業の技術研修に参加、16名の専門家が中国に派遣され現地で生産プロセスにおける省エネ化等の指導を行いました。その他、中小サービス業を対象とした人材育成も行いました。

また、公的資金に拠らない新たな人材育成支援スキームでの研修も行いました。現場改善活動等のトヨタ生産方式

(TPS)の考え方や実践事例を学ぶ「トヨタ生産方式(TPS)実践の神髄セミナー」には22名が参加しました。参加者は講義や見学を通じて、生産性向上

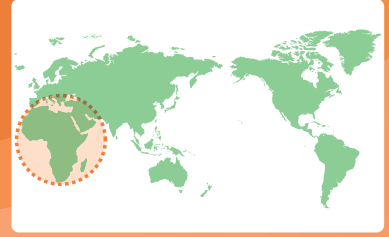


工程改善の演習風景

や無駄の削減を目指し、TPSや現場改善の手法を自社の生産方式にどのように活かしていくのかについて考察を重ねました。また、研修最終日にTPS検定4級試験(社団法人TPS検定協会)を受験し、22名全員が合格しました。

トヨタ生産方式(TPS)実践の神髄セミナー日程

1日目	オリエンテーション 講義「TPS基本」 講義「現場活性化」 講義「職場の整備」
2日目	講義「設備改善」 講義「品質改善」 講義「先行改善」
3日目	演習「工程改善」 演習「物流改善」
4日目	見学「自動車会社」 見学「TPS導入事例企業」
5日目	講義「プログラム総括、質疑応答」
6日目	TPS検定4級試験 修了式

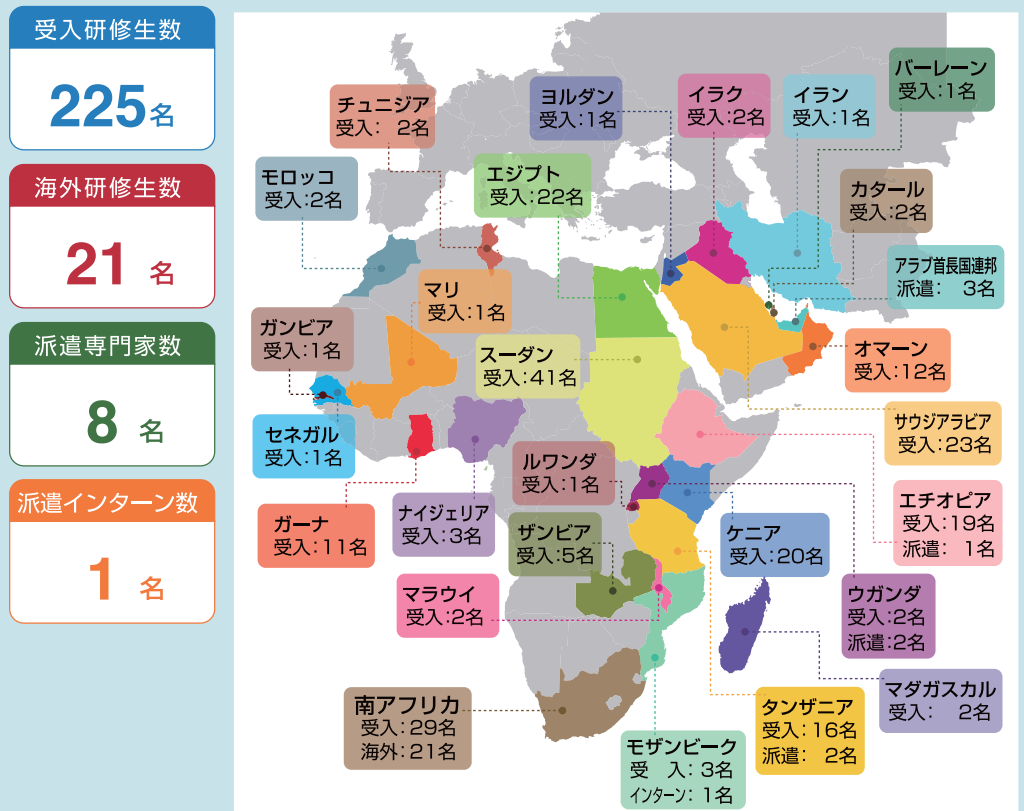
地域別
事業報告4 中東・アフリカ
地域

Middle East and African region

中東地域は原油価格の下落等により経済が低迷しており、また、政治面で不安定な国があるものの、日本経済にとっては、変わらず石油資源の主要な供給源であり、中東地域との良好な経済関係を維持していくことが必要不可欠です。

アフリカ地域は、豊富な資源や消費の拡大等を背景に経済成長を続けており、アフリカと日本の関係も、以前の「援助」主体から「投資」主体へとシフトしつつあり、投資環境の改善や人的インフラの整備が重要な課題となっています。

中東・アフリカ地域における国別実績(2014年度)



FOCUS

南アフリカ South Africa

南アフリカ政府は、自動車政策を重点産業と位置づけ、2020年に年間自動車生産台数を120万台に増強する目標を掲げているが、自動車部品産業の育成を阻害する自動車産業支援制度となっており、国内に自動車裾野産業を集積するための施策を模索する必要があります。自動車メーカー、部品メーカー等をはじめとする日系企業も進出しており、人材育成やインフラ整備は南アフリカ社会の安定のみならず日系企業のビジネス環境整備にもつながります。

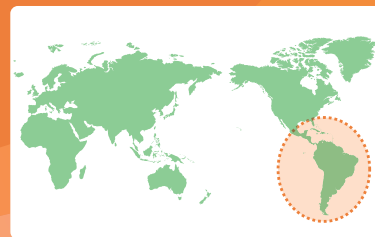
2014年度HIDAは、南アフリカの輸送産業に携わる経営者、上級管理者等に対し研修を実施し、18名の参加者が日本の輸送産業の経営、品質管理の特長について学びました。また、自動車産業政策の立案等に関わる政府関係者や自動車産

業団体等から17名をタイに招聘し、タイの裾野産業育成政策を一つのケースとして学び、自動車裾野産業の集積及び国際競争力の強化に向けての課題を抽出する研修を経済産業省の委託事業で実施しました。

FOCUS

スーダン Sudan

2014年度スーダンから日本に受入れた研修生は41名にのぼり、アフリカ地域の中で一番多くの研修生が来日しました。HIDA/AOTSアフリカ同窓会連合の協力のもと、アフリカ向けのコースを設定し、企業経営コースやリーダーシップコースにおいて、参加者は、自社の経営上の問題について経営者、管理者としての取組み方等について講義やディスカッションを通して学びました。



Latin America region

中南米地域は、過去の経済危機の教訓を踏まえた財政政策のもと、多くの国がFTA等の経済・貿易面での協定を通じて市場開放政策を推進しています。日本は同地域に対して、経済連携協定や投資協定等の経済的枠組みを強化しながら、巨大市場として、かつ資源や食糧の供給源として経済関係を強めているところです。日系企業の進出は、製造業を中心に緩やかながらも着実に伸びており、産業基盤の底上げや経済基盤の整備のためにも現地の人材育成がますます求められています。

中南米地域における国別実績(2014年度)

受入研修生数	157名
海外研修生数	236名
派遣専門家数	2名
派遣インターン数	4名



FOCUS ブラジル

Brazil

BRICs諸国の1つとして高い成長率を見せた後、景気は低迷しているものの、日本からの直接投資は増え続け、ブラジルには現在、大企業の製造業を中心に日系企業が進出しています。

2014年度HIDAは、主に自動車分野の製造管理、品質管理に関わる現地日系企業の人材22名を受入れ、低炭素化技術移転の支援を行いました。その他、産業財産権制度関連の研修に22名が参加しました。

また、サンパウロ及びリオデジャネイロで厚生労働省の委託事業として実施した労使関係のマネジメントセミナーには51名が参加しました。

FOCUS メキシコ

Mexico

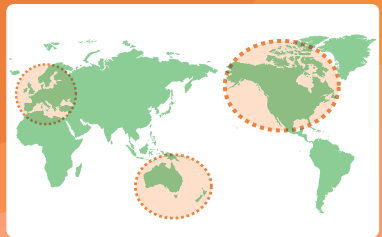
日系自動車製造業のメキシコでの生産拡大にともない、自動車部品メーカーの進出も増加し、自動車関連産業を中心に、日系企業のメキシコへの進出が増加してきています。2014年度開始した低炭素化技術移転の事業でも主に自動車部品分野等から6名が参加し、日本で研修を受けました。

また、中南米の企業経営者、管理者向けに実施している複数のコースには計25名が参加し、日本企業の経営事例と企業経営に関する手法や品質管理、生産管理等を学びました。

地域別事業報告

6 その他

(欧州・太平洋州・北米地域)

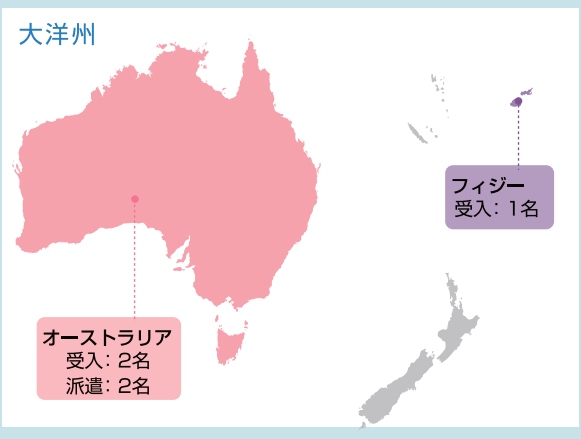
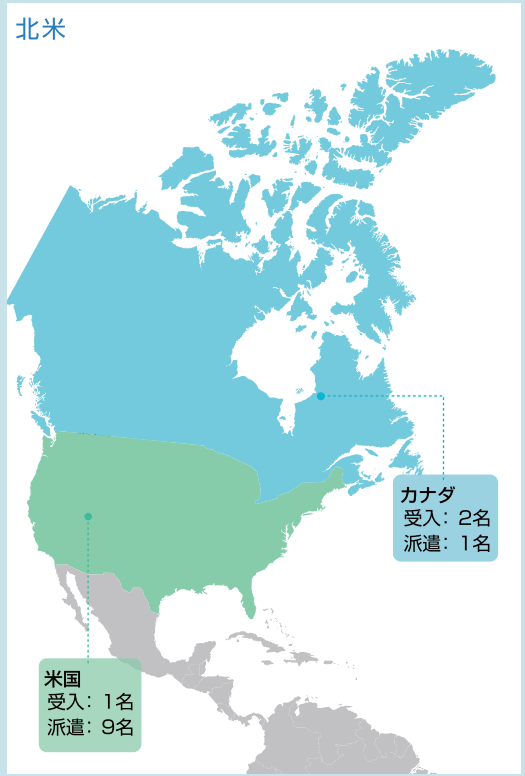
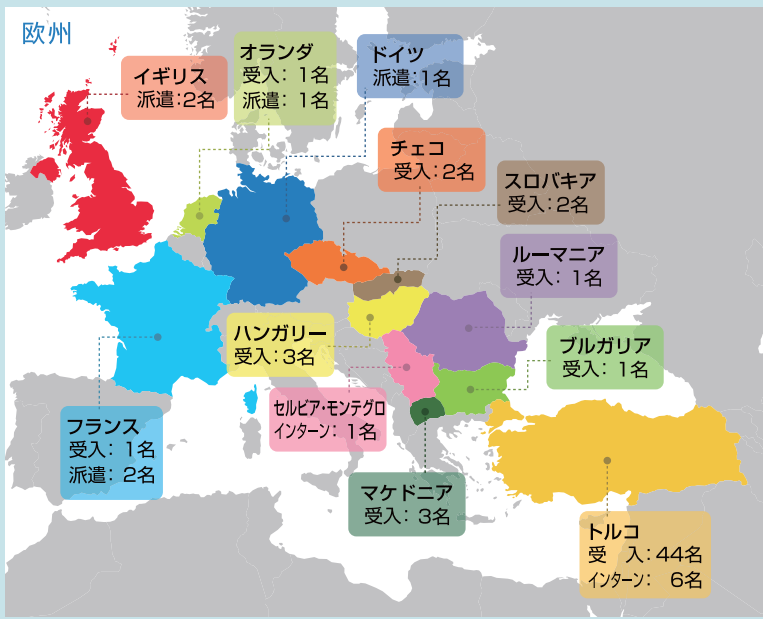


Other regions

これら地域では、僅かではあるものの各国および日本の産業界のニーズに即した人材育成を展開しています。多くがODA非対象国である欧州地域からは、HIDAの長年の研修ノウハウを活かした公的資金に拠らない研修を中心に参加がありました。アメリカ、イギリス、フランス、オーストラリア等先進国は、主に中小サービス業の現地進出を支援するための人材育成や労使関係の安定化を目的とした事業の対象国となっています。

欧州・大洋州・北米地域における国別実績(2014年度)

受入研修生数	派遣専門家数	派遣インターン数
64名	18名	7名



Focus トルコ Turkey

HIDA/AOTSトルコ同窓会と連携し、日本の製造業におけるものづくりの考え方、品質および生産性向上のための管理手法について学ぶ「トルコ生産管理研修コース」を実施しました。トルコから来日した22名の研修参加者は、講義、見学、演習を通じて得た経験や知識をもとに、各自の所属企業が抱える問題を明確にし、それらを解決し自社の競争力を強化するための行動計画を策定しました。また、省エネルギー技術普及のための研修もトルコを対象に実施しました。